

■藤原佐世 官人，漢学者。“阿衡の紛議”起こして，ライバル橘広相を失脚させるも，宇多天皇の不興で，左遷。
ふじわらのすけよ
円仁帰国・・・ 847＝ 生。式家菅雄の子。母は伴氏。父は藤氏儒士の初めとも伝え，道真の父是善の門人で，紀伝道出身。

・・・・・・ 856＝ 9歳：

人民摂政の実 858＝11歳：

・・・・・・ 865＝18歳：

応天門の変・ 866＝19歳：
室の一人は菅原道真の女。

藤原良房没・ 872＝25歳： 文章得業生・越前大掾・従七位下として大学頭・文章博士の巨勢文雄と渤海使を鴻臚館に饗し，

・・・・・・ 874＝27歳： 文章得業生試に及第，民部少丞に任じ，
・・・・・・ 875＝28歳： 冷然院焼亡後，勅命によって「日本国見在書目録」を撰進。

・・・・・・ 877＝30歳： 従五位下に叙せられた。
出羽元慶の乱 878＝31歳： 弾正少弼，
元慶官田・・・ 879＝32歳： 陽成天皇御読書始に都講を務める。

・・・・・・ 881＝34歳： 右少弁，

・・・・・・ 883＝36歳：
基経関白の実 884＝37歳： 大学頭，

・・・・・・ 886＝39歳： 左少弁・式部少輔に任ぜられた。また 権力者藤原基経の家司となり，その侍読を務め，
宇多天皇即位 887＝40歳： *基経のブレーンとなって阿衡の紛議を起こした。基経は，即位直後の宇多天皇から関白に任ぜられ，慣例に従って辞退の表を上った。それに対する参議左大弁文章博士橘広相起草の勅答文言の「阿衡」につき，佐世はただの名誉職であって職掌はないと論じた。これを容れた基経が出仕を止め政務を放棄し，政界・学界をまきこむ政争に発展した。

阿衡の儀終・ 888＝41歳： *宇多に自分の本意ではないと釈明の詔書を出させ，また共通の利害関係にあった橘広相を失脚させ，文章博士の任に就くことにも成功した。しかし逆に宇多の不興を蒙ることとなり，この間，左近衛権少将・大藏権大輔・常陸権介と累進していたが，
道真蔵人頭・ 891＝44歳： *基経薨去直後，陸奥守(兼上野権介)に左遷され，宇多の在位中は多賀国府に謫居を余儀なくされた。

・・・・・・ 892＝45歳：
遣唐使廃止・ 894＝47歳： 「古今集註孝経」九巻を勘了。
宇多上皇・・・ 897＝50歳： 醍醐天皇即位ののち，右大弁(従四位下)に任ぜられ，帰洛の途中で没した。